

2015年5月22日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社

グローバルヘルス技術振興基金のスクリーニング・プログラムを通じた
化合物ライブラリーの提供

－ 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざして －

田辺三菱製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:三津家 正之)は、このたび、公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(Global Health Innovative Technology Fund、以下「GHIT Fund」)の趣旨に賛同し、スクリーニング・プログラム(以下、本プログラム)に参画することになりましたので、お知らせいたします。

GHIT Fund は、マラリア、結核、顧みられない熱帯病等の、開発途上国に蔓延する感染症に対する新薬創出を促進するための日本発の官民パートナーシップであり、日本の製薬企業などが保有する高い科学技術の知見を活用した新薬研究開発力によって、グローバルヘルスに対する日本の国際貢献の強化をめざしています。

当社は、本プログラムに参画することで、開発途上国に蔓延する感染症の治療に貢献できるものと考えており、当社が独自に保有する医薬品化合物ライブラリー(5万化合物)を提供いたします。まずは、抗マラリア薬の創製に焦点を当てたスクリーニング機関である Medicine for Malaria Venture(以下「MMV」)とスクリーニング共同研究契約を締結しました。当社の化合物ライブラリーを GHIT Fund のスクリーニング・プログラムの枠組みを通じて MMV に提供し、現行の抗マラリア薬への耐性という課題を克服する、新規の抗マラリア薬候補化合物の創製に向けたスクリーニングが開始されます。今後は、その他の感染症に対する新薬創製に向けたスクリーニング・プログラムにも参画を予定しております。

田辺三菱製薬は、GHIT Fund への参画を通じた開発途上国の感染症治療への貢献をはじめ、世界の人々の健康に貢献していきます。

以上

《 本件に関するお問い合わせ先 》

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL:06-6205-5211

TEL:03-6748-7664